

# 石木ダム工事の強行を許さない！

県は平穏な生活を奪うな！ 工事を直ちに中止せよ



(2021年 付け替え道路工事現場)

2010年3月24日から始まった付け替え道路工事は、地権者、支援者の抗議行動で何回も延期しながら現在も継続中です。長崎県は、深夜や早朝めがけて重機を稼働させ強行しています。こんな光景が「普通」になっていることが異常なのです。もちろん、このような異常な状態で「話し合い」ができるわけがありません。実質上、県知事は話し合いを拒否しています。その責任は県知事にあります。

石木川の清流とホテルを守る市民の会

連絡先：tel095-898-4033, fax898-4034

寄付先 郵便振替:01770-8-55387

## ◆ 佐世保市の水は足りている

佐世保市は、人口減少もあり（今後も減少続く）水需要は過去10年近く減少しているが、市当局は実態とかけ離れた予測で国に申請した。佐世保市民の水は十分足りている。

## ◆ ダムを造っても洪水対策にはならない

2019昨年7月の西日本豪雨ではダムの放流により、逃げ遅れ、多くの方が犠牲となった。ダムは洪水対策どころか、むしろ危険なことが明らかとなったのです。ダムに頼らない治水対策は可能です。

## ◆ 覚書の約束を守らない長崎県

1972年「乙（県知事）が調査の結果、建設の必要性が生じた時は、あらためて甲（地権者）と協議のうえ、書面による同意を受けた後着手するものとする」と、当時の久保勘一知事と覚書を締結している。しかし、県はこの覚書を無視し、約束をまもっていない。その後も、住民との約束を守らない県の姿勢は続いている。

## ◆ 市民の多くがダム事業に疑問を持っている

昨年、石木ダムの是非に関するシール投票の結果、約90%の方は「石木ダム不要」と答えている。

13世帯56人の生活・人権を守ろう